

平成29年 4月24日  
 岐阜県立飛騨高山高等学校  
 国土交通省高山国道事務所

## 飛騨高山高校の生徒と共に環境学習 ～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”～

1. 概要 : 高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、飛騨高山高校の生徒32名と環境学習を行います。  
 学習の目的
    - ・ 自然環境調査に必要な基礎知識と技術の習得
    - ・ 飛騨の自然環境への理解を深めること
    - ・ 道路建設における自然環境保全知識の習得
  2. 日時 : 平成29年 4月26日(水) 10:00～12:00  
 【雨天決行】
  3. 場所 : 中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西IC内  
 ビオトープ“飛騨の森再生”(高山市清見町牧ヶ洞地内)
  4. 参加者 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 3年生 32名  
 国土交通省高山国道事務所 職員
  5. 添付資料 : 別紙のとおり
  6. 配布先 : 高山記者クラブ
  7. 問合せ先 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス  
 環境科学科 浅野 宗則(あさの むねのり)  
 TEL 0577-33-1060  
 FAX 0577-32-8994
- 国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所  
 計画課長 奥田 清典(おくだ きよのり)  
 TEL 0577-36-3822  
 FAX 0577-36-3801



# 高山西 I C ビオトープ “飛驒の森再生”

## 1. ビオトープ“飛驒の森再生”整備経緯

中部縦貫自動車道高山清見道路の建設により、動植物の生息・生育環境が分断され、従来の自然環境が大きく変化する可能性があります。そのため、I C内を『飛驒の森再生』として位置付け、調整池の自然利用及び周辺植生の遷移促進を含めた計画をし、平成16年11月に高山清見道路（高山清見 I C～高山西 I C）の供用と同時にビオトープが完成しました。

さらに、平成22年7月には、飛驒高山高等学校と高山国道事務所で「維持管理に関する協定」を締結し動植物の生息・生育環境創生に取り組んでおります。

## 2. 現在のビオトープの状況

完成してからこの13カ年で調整池を含むI C内の環境は大きく改善し、ビオトープに移植した根株・貴重植物ともに生育状況は良好です。また、周辺域から在来種も入り、ビオトープ内は調整池や植生の変化に併せて、両生類（カエル）や昆虫類（トンボやバッタ）などの定着も順調に進み、生物の多様化が進んできています。

## 3. 学習内容

今年度第一回目は、環境科学科3年生32名が参加して、ビオトープ内の調整池において、春に見られる水生昆虫（トンボのヤゴ等）の捕獲・識別実習と樹木の生育調査等を行います。

### ①水生昆虫の捕獲・識別実習

ビオトープ内の調整池は、カエル類やトンボ類、ドジョウ等様々な生物の生息生育環境となっています。今回は、ビオトープに生息する水生昆虫を捕獲し、観察を行い、種の識別を行います。



水生昆虫の捕獲（昨年度の様子）



捕獲した水生昆虫の確認（昨年度の様子）

### ②樹木の生育調査等

ビオトープ内に生育している樹木について位置図を作成し、毎年樹木調査を行ってきました。今回は、これら経年調査を行っている樹木について、成長の度合いを調べます。



樹木の生育調査（昨年度の様子）



# 環境学習 実施位置図

実施場所:高山西IC内 ビオトープ「飛驒の森再生」

